

案内

第26回 日本看護診断学会 学術大会 [Web 開催]

日時：11月29日(日) [オンデマンド配信：
～12月13日(日)]

テーマ：日本型看護診断の夜明け——日本の
臨床に根ざした看護診断の創造

プログラム：会長講演「日本型看護診断の
夜明け——日本に根ざした看護診断の創
造」奥津文子(関西看護医療大学)／特別
講演1「コロナ禍における看護師の役割」
尾身茂(独立行政法人地域医療機能推進機
構)／2「質の高い看護実践の基盤は臨床
推論にあり」大西弘高(東京大学医学教育
国際研究センター)／教育講演1「質の高い
看護実践のために——今、改めて看護師
の責任を問う」江川隆子(関西看護医療大
学)／2「日本型『看護診断』誕生の道程と
これから」黒江ゆり子(岐阜県立看護大学)
／シンポジウム「若手研究者シンポジウ
ム：日本型看護診断を根付かせるための
革新的な一歩」／パネルディスカッション
「看護師は臨床判断が適切にできている
か?」／他

参加費：1万円(～12月13日)，学生※
3000円

※大学院生・看護師の資格をもつ研修学
校などの学生は含まれない

参加登録方法：下記Webサイトの参加登
録ページより

[http://www2.issjp.com/jsnd2020/index.
html](http://www2.issjp.com/jsnd2020/index.html)

問い合わせ先：第26回日本看護診断学会
学術大会 運営事務局

E-mail: jsnd2020@issjp.com

案内

第22回 日本救急看護学会 学術集会 [Web 開催]

開催期間：12月1日(火)～12月31日(木)

テーマ：危機の時代と救急看護

プログラム：会長講演「危機の時代と救急
看護」作田裕美(大阪市立大学大学院看護
学研究科)／特別講演1「看護の開示——
危機は透明化のチャンス」坂本すが(東京
医療保健大学医療保健学部)／2「『コロナ
禍』における『人災』の構造と、日本の脆
弱性の本質」藤井聡(京都大学大学院工学
研究科)／教育講演1「今だからこそ考える
『人権』」谷口真由美(大阪芸術大学)／2
「人生100年時代を働く女性のライフコー

ス——多様な選択肢とwell-being」斧出節
子(京都華頂大学現代家政学部)／3「大阪の
『あいりん地区』の変容と今後の課題」福
原宏幸(大阪市立大学)／4「救急初期診療
における臨床推論の実際」溝端康光(大阪
市立大学大学院医学研究科)／5「コロナ・
パンデミックは都市災害だ——感染症の
専門家だけでは制御不可能」河田恵昭
(関西大学社会安全学部社会安全研究セン
ター)／6「救急医療における看護師の危
機対応能力」木澤見代(日本大学病院看護
部)／7「人口構造・社会環境の変化と医
療提供体制改革」村上正泰(山形大学大
学院医学系研究科)／8「生きることをつな
ぐ救急医療の現場で看護師がキャリアを積
むということ」勝原裕美子(オフィスKAT-
SUHARA)／9「重症熱傷の評価と管理」
森田栄伸(島根大学医学部)／10「救急
看護師が子ども虐待に出会うとき」毎原敏郎
(兵庫県立尼崎総合医療センター小児科周
産期医療センター)／11「貧困・社会経済格
差と不健康——医療利用の背景をふま
えた多面的支援」松田亮三(立命館大学産業
社会学部)／12「エネルギー環境問題の現
段階——人間社会への影響と政策」大島
堅一(龍谷大学政策学部)／シンポジウム1
「救急看護と二次的トラウマ」川谷陽子(愛
知医科大学病院高度救命救急センター)，関
根剛(大分県立看護科学大学看護学部)，武
用百子(和歌山県立医科大学看護キャリア開
発センター)／2「都市の貧困と健康問題・
救急医療」奥村晴彦(大阪社会医療センター
付属病院)，田熊清隆(川崎市立川崎病院救
命救急センター)，森亮太(杉浦医院)／3「外
国人受け入れ政策——外国人労働者の就
労問題 健康問題」室伏謙一(室伏政策研
究室)，大谷則子(和洋女子大学看護学部)，
新垣智子(りんくう総合医療センター)／4
「救急領域におけるタスクシフト・タスク
シェアを考える」加藤正哉(和歌山県立医
科大学)，増山純二(巨樹の会大学設置準備
室)，秋田健太郎(神戸徳洲会病院)／パネ
ルディスカッション1「救急看護の今とこ
れから」高野裕子(和歌山県立医科大学附
属病院)，井上佳世(大阪市立大学医学部附
属病院救命救急センター)，宮原めぐみ(ベ
ガサス訪問看護ステーション)，嶋田安希(大
津赤十字病院高度救命救急センター)／2「限
界集落の健康問題と救急医療」杉岡秀紀
(福知山公立大学地域経営学部)，岡裕也(掛
斐川町春日診療所)，岩井恵子(関西医療大
学保健看護学部)，中村陽子(龍谷大学文学
部)／3「119番の危機」稲村あづさ(北野

病院看護部)，小田浩文(大津市消防局)，山
本啓雅(大阪市立大学大学院医学研究科)，
阿部雅美(日本赤十字社和歌山医療センター
看護部)／4「救命のその後」安田彦彦(洛
和会音羽病院救命救急センター)，狭川普文
(華嚴宗大本山東大寺)，太田裕子(大阪医療
センター医療福祉相談室)，阿部美佐子(大
阪市立大学医学部附属病院看護部)／他

参加費：(プログラム集合) 会員1万1000
円，非会員1万3000円，学生3000円

参加登録締切：12月31日(木)

参加登録方法：下記Web サイトより

<https://site2.convention.co.jp/jaen22/>

問い合わせ先：[運営事務局]

〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋
4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2F 日本コンベン
ションサービス内

TEL: 06-6221-5933

FAX: 06-6221-5939

E-mail: jaen22@convention.co.jp

[学術集会事務局]：大阪市立大学大学院
看護学研究科 がん・急性看護学領域

〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭
町1-5-17

TEL: 06-6645-3593

案内

第40回 日本看護科学学会 学術集会 [Web 開催]

開催期間：[Live配信] 12月12日(土)・
13日(日) [Web配信] 12月1日(火)～12
月25日(金)

テーマ：看護科学のImplementation

プログラム：会長講演「社会実装される看
護科学」萱間真美(聖路加国際大学)／
JANS40周年記念 理事会企画「Compe-
tencies for Becoming a Nurse Scientist」
William L. Holzemer (JNNS Editor in Chief
RN, Ph.D, FAAN / ラトガース大学)／教
育講演「質的研究方法の実装と看護科学
の発展」木下康仁(聖路加国際大学)「Us-
ing "Best Practices" in Mixed Methods Re-
search」John W. Creswell (ミシガン大学)
「Using artificial intelligence to uncover
hidden power of nursing data to improve
patient outcomes」Maxim Topaz (コロ
ンビア大学病院)「マグネット認証への旅」鈴木
千晴(聖路加国際病院)／シンポジウム「災
害復興に実装される看護科学」「医療にお
ける当事者・家族意思決定支援の実装」
「看護学と薬理学との新たな融合・発展を
めざして——何が求められ、何ができる」

「国際学会オーラルプレゼンテーションへの第一歩」「Next-generation knowledge development approach through team science」「看護行為の開発ならびに標準化のプロセス 学会主導看護ケアガイドライン作成プロジェクトの紹介」「看護科学におけるImplementation Researchの展望」Mark Toles (ノースカロライナ大学), 島津太一 (国立がん研究センター), 山川みやえ (大阪大学) / JANA (日本看護学会協議会) との共同セミナー／他

参加費：会員1万1000円, 非会員1万4000円, 学生^{*1)} 無料／外国人留学生および海外に居住する外国人 (非学会員) が口演 (English Session) を行う場合^{*2)} 口演参加費2000円

*1「学生」は、看護基礎教育課程に在籍する者を指す

*2 専用サイトから事前申込要

参加登録締切：[郵便振替] 10月16日 (金) 正午 [クレジットカード払い] 12月23日 (水) 正午

申込方法：下記Webサイトの参加登録ページより

<https://site2.convention.co.jp/jans40/registration/>

問い合わせ先：[学術集会事務局]

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加国際大学

[運営事務局] 日本コンベンションサービス (株)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1丁目4-2 大同生命霞が関ビル14階

TEL：03-3508-1214

FAX：03-3508-1302

E-mail：jans40@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/jans40/>

案内・募集[演題]

第1回 理論看護研究会 [Web開催]

日程：2021年3月6日 (土) 9:00～16:30

テーマ：つくる・つかう・つたえる

プログラム：「Development of Situation Specific Theory (状況特定理論の構築)」Eun-Ok Im (エモリー大学) / 「こどもセルフケア看護理論の構築」片田範子 (関西医科大学) / 「状況特定理論構築にチャレンジ」坂下玲子 (兵庫県立大学) / 他

参加費：一般5000円, 学生3000円 (学生は大学生と看護学生を指す)

演題募集：6つの形式を用意し、広く演題

を募集します。

[つたえる (Description)] 臨床で活躍されている看護師や実習中の体験を言葉にしたい学生向け

A 看護現象の言語化 (→演題項目A)

[つかう (Use)] 高度看護実践に携わる看護師や専門看護師, 理論と実践をつなぐ看護研究者向け

B-1 看護実践の説明 (→演題項目B-1)

B-2 理論に基づく看護実践 (→演題項目B-2)

B-3 理論に基づく看護研究 (→演題項目B-3)

[つくる (Development)] 学術知識の新たな発展に寄与する看護研究者向け

C-1 概念分析 (→演題項目C-1)

C-2 看護理論や概念の構築 (→演題項目C-2)

詳細な情報は下記Webサイトの「演題項目」をご確認ください。

<http://theoretical-ns.umin.jp/abstracts/index.html>

演題募集締切：11月30日 (月)

参加登録締切：2021年1月29日 (金)

17:00

申込方法：[演題申込] 該当の抄録フォームをダウンロードし、必要事項を記入してメール添付にて送付

E-mail：theoretical_ns-as@umin.ac.jp

[参加申込] 下記Webサイトの参加登録ページより

<http://theoretical-ns.umin.jp/registration/index.html>

問い合わせ先：運営事務局

あゆみコーポレーション

E-mail：theoretical_nu-as@umin.ac.jp

※掲載している情報は11月1日時点の内容です。学会開催の有無など、最新の情報は主催元にご確認ください。